

新しいスポーツ推進計画策定に向けた基本的な考え方

1 目指すべき姿と基本目標

◆目指すべき姿

【安心して健やかに暮らせる健康長寿県 奈良】を目指す

◆基本目標

「だれもが、いつでも、どこでも運動・スポーツに親しめる環境づくり」

- スポーツは、感動や勇気、楽しみ、活力をもたらす。また、人格の形成、健康・体力の向上、健康長寿の礎であり、明るく豊かで活力の満ちた社会に欠かせない存在。

2 計画の期間

平成25年度～平成34年度までの10年間
(5年後を目途に改訂)

- 目指すべき姿、基本目標のもと、今後10年先を見据え、どのように取り組むかを明示する。
- 当面の5年間の施策目標を明確にする。

3 計画の進捗状況の検証

- 基本目標達成のため、計画の進捗状況や取組の効果を適切に点検・評価する。
- スポーツ推進審議会において、毎年度、進捗状況について評価・検証を実施。

4 計画に盛り込む3つの項目

I 健康づくり、体力づくり

- 総合型地域スポーツクラブの育成
- ライフステージに応じた健康・体力づくり
- 子どもの体力向上
- 高齢者・障害者のスポーツ活動の推進

II スポーツイベント等の開催

- スポーツイベントによるにぎわいづくり
- 奈良に相応しい新しいスポーツイベントの創出
- スポーツツーリズムの推進
- プロスポーツの推進

III 施設の整備・運営

- 新たな施設整備の検討
- スポーツによるまちづくり
- 身近な公共施設の活用
- 既存施設の有効活用と計画的整備

○ 総合型地域スポーツクラブの育成

- ・ 全市町村にクラブを展開
- ・ 南和地域におけるクラブ育成の積極的な支援
- ・ 複数クラブによる交流大会の開催等、クラブ活動の質の向上
- ・ 学校活動との連携、学校体育施設の有効活用

○ ライフステージの応じた健康・体力づくり

- ・ 各世代における運動・スポーツの実施頻度の向上
- ・ 身近で簡単に取り組める健康・体力づくり
- ・ スポーツイベントによるスポーツ活動への参加促進

○ 子どもの体力向上

- ・ 幼児期からの運動習慣づくり
- ・ 野外活動やスポーツ・リクリエーション活動の推進
- ・ 学校部活動の活性化等の充実、向上

○ 高齢者、障害者のスポーツ活動の推進

- ・ 運動・スポーツに取り組もうとする参加機会の充実
- ・ 健康づくりや介護予防事業との連携
- ・ 障害者スポーツ指導者の養成
- ・ 障害者と健常者がともに楽しむプログラムの開発

○ 競技力の向上

- ・ トップアスリートが生まれ、育つ環境づくり
- ・ ジュニア期からの一貫指導体制の構築
- ・ スポーツ指導者の確保、養成

○ スポーツイベントによるにぎわいづくり

- ・ 奈良マラソンなどの既存イベントの質の向上と充実
- ・ 「ナイトラン」事業の全県展開
- ・ スポーツボランティアの育成

○ 奈良に相応しい新たなスポーツイベントの創出

- ・ ウォーキング、トレッキング、トレイルラン、サイクリング、カヌーなど、奈良の地勢を活かした新たなスポーツイベントの創出

○ スポーツツーリズムの推進

- ・ スポーツイベントを活用した新たな観光メニューの開発
- ・ 国際大会や全国大会等の誘致
- ・ ランニングコースガイド等の作成

○ プロスポーツの推進

- ・ プロスポーツが育つ、地域、企業等との連携による応援体制の構築
- ・ プロのゲーム、試合等の誘致

○ 新たな施設整備の検討

- ・ 10年～20年先を見据えた新たな拠点・核となるスポーツ施設の整備

○ スポーツによるまちづくり

- ・ 橿原公苑スポーツ施設を中心としたまちづくりの推進
- ・ 駅前や商店街など、「まちなか」でのスポーツ環境の整備
- ・ プロスポーツ、トップアスリートを応援する体制づくり

○ 身近な公共施設の活用

- ・ 公園や公共空間などを活用したスポーツ、レクリエーション環境の整備
- ・ ウォーキング、ジョキングに適したコースの選定

○ 既存施設の有効活用と計画的な改修

- ・ 既存の県有施設の長寿命化に向けた計画的な整備・改修
- ・ 老朽化したスポーツ器具、用具の計画的な整備
- ・ 市町村、学校・大学、民間等との連携によるスポーツ施設の有効活用
- ・ スポーツ施設の新たな整備、運営、管理方法の検討と整備財源の確保に向けた研究